

2009 年度学会活動報告

(1) 平成 21 年度年次総会開催の件

学会第 16 期の締め括りと、第 17 期の活動方針審議のため、平成 21 年 6 月 6 日（土）、

中央大学駿河台記念館（東京・神田駿河台）に於いて平成 21 年度年次総会を開催した。

総会出席会員数 47 名、委任状 140 名

（議決人員 187 名／会員総数 486 名）

総会議題

議題 1. 平成 20 年度学会活動状況報告の件（案）

議題 2. 平成 20 年度学会決算報告の件（案）

議題 3. 監査報告の件（案）

議題 4. 平成 21 年度学会活動計画審議の件（案）

議題 5. 平成 21 年度学会予算審議の件（案）

議題 6. 日本経営倫理学会会則改定の件（案）

議題 7. 理事監事改選の件（案）

上記が審議され、原案通り決定された。

また、議題審議終了後に第 4 回「経営倫理論文募集」の表彰式を行った。

その後、休憩を挟んで特別講演として「創造と変革の志士たちへ - 育成に向けて -」について

堀義人（株式会社グロービス 代表取締役）氏の講話があった。

(2) 理事会開催の件

学会の業務運営に関する重要事項を審議決定する為、理事会を下記のごとく開催した。

(平成 21 年)

第 114 回理事会 4 月 25 日 (土) 平成 21 年度年次総会開催準備の件

第 115 回理事会 6 月 6 日 (土) 新体制の件

新会長および役職者の選定

第 116 回理事会 6 月 13 日 (土) 平成 21 年度活動計画推進の件

第 117 回理事会 9 月 26 日 (土) 第 17 回研究発表大会の件

第 118 回理事会 12 月 5 日 (土) 第 2 回経営倫理シンポジウムの件

(平成 22 年)

第 119 回理事会 3 月 6 日 (土) 会長提案にかかわる件

(3) 研究発表大会開催の件

第 17 回研究発表大会を平成 21 年 10 月 21 日(土)慶應義塾大学 (東京・三田) において開催した。当日は統一論題『世界同時不況と経営倫理—リーダーシップと組織風土のあり方—』4 本および自由論題 25 本の研究発表を終日 3 会場に分けて行った。

統一論題は昨年に引き続き発表終了後、発表者 4 人と聴講者間でディスカッションが展開

された。

(4) 研究交流例会開催の件

学会員の研究情報の交流と学会活動の理解を深める交流例会を前年度に引き続き下記のごとく開催した。なお第 67 回研究交流例会からは 2 本立てとし、各研究部会からの研究報告や若手研究者等からの研究報告を行なうこととなった。

* 第 66 回研究交流例会（平成 21 年 7 月 18 日）

「地球環境を考える－『環境問題アクションプラン 42』を中心に－

企業行動研究部会環境倫理分科会幹事 瀬名敏夫 氏

* 第 67 回研究交流例会（平成 21 年 9 月 26 日）

「2009 年度 SBE 年次大会参加報告」

慶應義塾大学准教授 梅津光弘 氏

日本橋学館大学名誉教授 古山英二 氏

文教大学教授 小坂勝昭 氏

「企業市民論：社会に求められる新しい企業像の検討」

淑徳大学准教授 葉山彩蘭 氏

* 第 68 回研究交流例会（平成 21 年 12 月 5 日）

「共同体としての企業－CSR（掃除、スピリチュアリティ、宗教）の視点から」

常磐大学教授 村山元理 氏

「デンマークにおける在外研究報告—社会的事業と協働—」

東海大学准教授 横山恵子 氏

* 第 69 回研究交流例会（平成 22 年 3 月 6 日）

『「公益」概念をめぐる渋沢栄一と原丈人』

文教大学教授 小坂勝昭 氏

「法律からの内部統制とコンプライアンスプログラム」

川崎医療福祉大学准教授 西井寿里 氏

* 国際委員会主催第 2 回特別講演会（平成 21 年 10 月 3 日）

「現代資本主義—危機の背景と今後の課題—」

セントトーマス大学教授 Prof. Daryl Koehn

（5）研究部会活動報告の件

研究活動報告および今後の計画に関し研究部会活動報告にて報告。

* 以下の部会長および登録メンバー数は平成 21 年 3 月末現在。

1. 理念・哲学研究部会

部会長：村山 元理 氏 登録メンバー数：23 名

2. 企業行動研究部会

部会長：上原 利夫 氏 登録メンバー数：64名

3. 監査研究部会

部会長：山脇 徹 氏 登録メンバー数：17名

4. 実証調査研究部会

部会長：中野 千秋 氏 登録メンバー数：11名

5. CSR 研究部会

部会長：水尾 順一 氏 登録メンバー数：53名

6. 経営倫理教育研究部会

部会長：梅津 光弘 氏 登録メンバー数：24名

7. トップマネジメントの経営倫理研究部会

部会長：高橋 浩夫 氏 登録メンバー数：11名

(6) 地方組織活動の件

関西および中部各地区研究部会の登録メンバー、研究活動報告および今後の計画に関し別紙 1 にて報告。

研究部会長、参加数および登録メンバー数は平成 21 年 3 月末現在。

(I) 関西地区研究部会

部会長：吉川 吉衛 氏 参加数：約 25 名

(II) 中部地区研究部会

部会長：堀田 友三郎 氏 登録メンバー数：26 名

(7) 故水谷雅一名誉会長の献花式の件

平成 21 年 3 月 19 日に逝去された、当学会の創設者である故水谷雅一名誉会長の献花式を開催した。なお姉妹団体の一般社団法人経営倫理実践研究センター（福原義春理事長・以下 BERG）と NPO 法人日本経営倫理士協会（辛島睦理事長・以下 ACBEE）との合同開催であった。

(8) 学会報発行の件

学会の活動状況伝達のため、学会報No.49 第 52 号（平成 21 年 5 月 20 日発行）、No.50 第 53 号（平成 21 年 11 月 30 日発行）、No.51 第 54 号(平成 22 年 2 月 25 日発行)を夫々発行し会員各位に配布した。

（9）学会誌発刊の件

慶應義塾大学で開催された第 17 回研究発表大会での発表を中心に、本論文 28 本および研究ノート 1 本からなる『日本経営倫理学会誌第 17 号』を平成 22 年 3 月に発刊した。

（10）国際交流推進の件

平成 22 年 1 月に第 4 回国際委員会を開催し、平成 21 年度の活動の見直しと 22 年度の活動方針についての議論をおこなった。

（11）第 2 回経営倫理シンポジウム開催の件

当学会主催、BERC および ACBEE 協賛の第 2 回経営倫理シンポジウムを平成 22 年 1 月 26 日（火）上智大学（東京・四ツ谷）において開催した。当日は「企業の持続性と経営倫理」をテーマに基調講演(渋澤健氏・テーマ：「論語と算盤」に学ぶ-企業の持続可能性をめざす渋沢栄一
の思想と行動)、実践報告 3 名（伊那食品工業(株)塚越寛氏、青山学院大学大学院高橋文郎氏、(株)資生堂岩田喜美枝氏)および当学会常務理事の水尾順一氏をコーディネーターとしたパネルディ

スカッションが行なわれた。110 余名の参加者があり、終日、熱心な講演と活発な議論が行なわれた。実行委員長は水尾順一（駿河台大学）氏。

（12）第4回「経営倫理論文募集」学術部門・実践部門表彰の件

昨年度「グローバル経済下の経営倫理」のテーマで第4回の論文募集を行なった。小林審査委員長（前当学会会長）他10名の審査委員各氏による厳正な審査のうえ、21年度総会後に発表および表彰を執り行った。

なお今回は優秀論文賞1編（学術研究部門）、佳作賞2編（学術研究部門）および1編（実務実践部門）の論文が入賞論文に選出された。

以上